

モモの害虫「モモノゴマダラノメイガ」 の被害を防ぐ緑色LED灯



緑色LED灯による防除風景



モモノゴマダラノメイガの被害果実
(左上:成虫、右上:果実に食入する幼虫)

開発のねらい

モモノゴマダラノメイガは幼虫がモモ果実を食害します。この害虫を農薬を使わずに防除する「緑色LED灯」の効果を実証しました。

新技術の概要

- ▶ 夜間、産卵のため飛来するモモノゴマダラノメイガ雌成虫の飛翔行動は、おおむね1.3ルクス（照度）以上の緑色光で抑制され、幼虫による被害果率を5%以下に抑制します。
- ▶ 緑色光の照度が1.3ルクスに到達していないところでは、補助灯を設置して1.3ルクス以上を確保すると、被害果率を約5%以下に抑制できます。
- ▶ 「緑色LED灯」は従来の「黄色蛍光灯」と比べて光量・光質が劣化せず、消費電力が低く、近隣のイネの生育にも影響しません。

活用場面

環境にやさしい防除法でモモを安定生産することで、岡山ブランドの価値がますます高まります。また、緑色LED灯を利用すると防除効果の安定化や省力化につながり、農家経営が改善されます。